	<del>≒</del> ¥			Δ=	<u></u>		令和7年11月21日	
	議	事		録		記録者	上野知春	
会議名	令和7年度			В	令和7年11	月20日		
	第1回地域連携推進会議 14時00分~16時15分							
場所	療護園1階	会議室		時				
	議長		施設長 上	.野	書記		上野	
<del></del>	療護園入居者T様 療護園家族K様 地域関係者M様 福祉に知見のある人K様							
出席者	西区障害者基幹相談支援センター 椎原センター長様 田中相談員様							
	施設長上野 サービス管理責任者中根 フロアマネージャー武田							
次第 1 開会挨拶								
2 出席者紹介								
3 施設紹介								
4 施設見学								
5 報告事項(入居者の日常の様子、行事報告、苦情、事故、虐待報告等)								
6 意見交換、感想								
7 閉会								
1 開会挨拶								
施設長上野より挨拶及び会議の趣旨説明。そののちに、施設からの出席者の紹介。								
2 出席者紹介								
構成	構成員の方に自己紹介をしていただく。							
3 施設紹	介					•		
中根	中根サービス管理責任者より資料を元に、施設概要、沿革、理念、特色、入居							
	されている方の現状等について説明。							
4 施設見学								
施設設備の説明の後、全フロアを見学していただく。								
5 報告事項								
・武田フロアマネージャーより入居者の日常の様子について、堺障害児者施設部会								
が共同で作成した施設紹介動画を用いて紹介。行事についても同様に紹介。								
時間を見つけては、外出(散歩、コンビニでの買い物、カラオケなど)の機会を設け								
ている。施設入所後に初めて家族以外の方と接し、車椅子に乗って外出するという								
夢を叶えた方もいます等の説明。								
・事故の状況(中根サビ管より)								
資料を元に、過去3年間の事故件数と種類を報告。最も多い事故は転倒・転落。								
その他、誤薬、誤配、利用者同士のトラブル等。								
重大事故については行政への報告が義務づけられており行っている。主な内容は								
骨折事故。								
リスクマネジメント委員会を設置、事故が発生した際は報告書を作成し、再発								
防止策を検討、職員全体での研修や啓発活動を行っている。								
・ 苦情について(中根サビ管より)								
過去3年間で6件の苦情があり、内容の多くは職員の対応(言葉遣いや態度)、依頼								
されたことの失念に関するもの。 								
苦情があった場合は、申立人(家族等)へ説明し、間違いがあった時は謝罪を行い、 								
同時に対策を検討し再発防止に努めている。 								
・ 虐待について(中根サビ管より)								

令和6年度に堺市に通報した案件が3件。そのうち、2件は虐待と結論づけられた。 1件については不適切ケアではあるが、虐待とまでは言えないという行政の判断。 内容は利用者の顔を叩くという暴力行為。利用者のお顔にオムツ布を被せる行為。 虐待事案を通じて、組織的課題を洗い出し、職員間のコミュニケーション不足の解 消、個人面談の実施、研修の充実など組織体制の強化に取り組むとともに、職員の 悩みなど聞き、働きやすい環境整備に取り組んでいる。

・BCP策定状況(中根サビ管より)

自然災害や感染症発生時にも業務を継続するためのBCP(業務継続計画)を策定している。

研修、机上訓練を実施し、毎年年度末には全体研修で職員に周知徹底に努めている。 建物は鉄筋コンクリート造りで、倒壊の危険性は低いと考えられている。地域の 福祉避難所にもなっている。

食料品と水は3日分備蓄している。その他備品についても、ローリングストック 方式を採用している。

- 6 意見交換、質疑等(出席者からの意見や質問)
  - ・思っていたより医療(胃ろう、導尿、ストマ等)が充実しているという印象を受けた。
  - ・入所される方について、地域で限界まで頑張った後入所される方が多いという現状を 知った。
  - ・職員の離職率が低いことは、職員が働きやすい環境である証拠であり、それが 入居者さんへのよい影響につながっていると感じた。
  - ・虐待事案が発生した際に、施設が隠蔽せず報告し、外部(行政や第三者)の目を入れて検証・改善していくことが、より良い支援を行う上で非常に重要である。
  - ・障害福祉のフィールドと関係のない分野でお仕事をされている方との接点をもつ事 は貴重な機会であり、こういう場を持った方がいいと思った。
  - ・音楽などのボランティア活動を行っているので、いつでも声をかけてください。
  - ・未知なことも多く参加できてよかった。皆さんのされていることは本当に尊いことであり、なかなか難しいことに向き合うことはどんな仕事でも大変だと思う。自分自身 の仕事にも生かしたいと思った。
  - ・重度の人がどんどん入ってくるようになったから寮母さんも大変と思う。お風呂でも 身体はよく見てくれている。家族さんにしてみたら痣を見たらなんでやろってなる けど、実際ここでの生活を知らないから。ちょっとじっとしてたら色が変わって 来る。

みんな声が出せたらいいけど、出せないからね。ここはオープンでやってるから、 事故や虐待を隠すとかの心配はない。

- ・健康診断はあるのでしょうか?→年に1度のレントゲン撮影。3か月に1度の 血液検査を行っている。
- ・耳垢が溜まってくるため定期的になんとか取ってもらえたらありがたい。→入浴時に拭うなどはしている。以前、耳掃除で傷を負わせた事故もあり慎重に対応している。看護師ができる範囲で行っているが、定期的な受診となるとなかなか難しい状況にある。
- ・災害時の避難についての質問があった。エレベーターが止まった時の対応は? →火災の時などは、避難用スロープや人力での対応になる。地震の時はこの建物 内が一番安全であると考えている。